

平成25年10月吉日

全国環境整備事業協同組合連合会
公益社団法人岐阜県浄化槽連合会

大会「今 考える」

秋晴の候、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

戦後68年が過ぎ、記録を振り返ると昭和20年の3月10日に東京大空襲、3月26日 沖縄戦、
8月6日 広島原爆投下、8月9日 長崎原爆投下、昭和20年8月15日 終戦。

アメリカがなぜ広島、長崎に原爆を投下したかを 今だから考える必要がある。

2部のパネルディスカッションでは、今年の4月岐阜大学に みず再生技術研究推進センター
が開設された。

浄化槽の設置者には、保守点検・清掃・法定検査の三つが義務付けされているが、長い間この
三つの業種が連携することなく行われていた。

今、官民学が一体となって動き出した時、岐阜県内の水環境に浄化槽が必要であるか ないか
を 大会「今 考える」にて議論したく、ご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成25年11月12日（火） 13時00分～17時00分

2. 場 所 岐阜市長良川河畔 岐阜グランドホテル ロイヤルシアター

3. 内 容

- ・主催者の主張 「今 考える」 玉川 福和
- ・講 演 「わたしの野球人生 ～被爆者として、人として～」
プロ野球解説者 張本 勲 様
- ・パネルディスカッション「水処理システム」
 - パネリスト 瑞浪市長 水野 光二 様
 - 岐阜大学教授 李 富生 様
 - 長良・天神川を考える会 清水 佳子 様
 - 主催者 玉川 福和
- 司 会 牧野 好晃
田中 剛